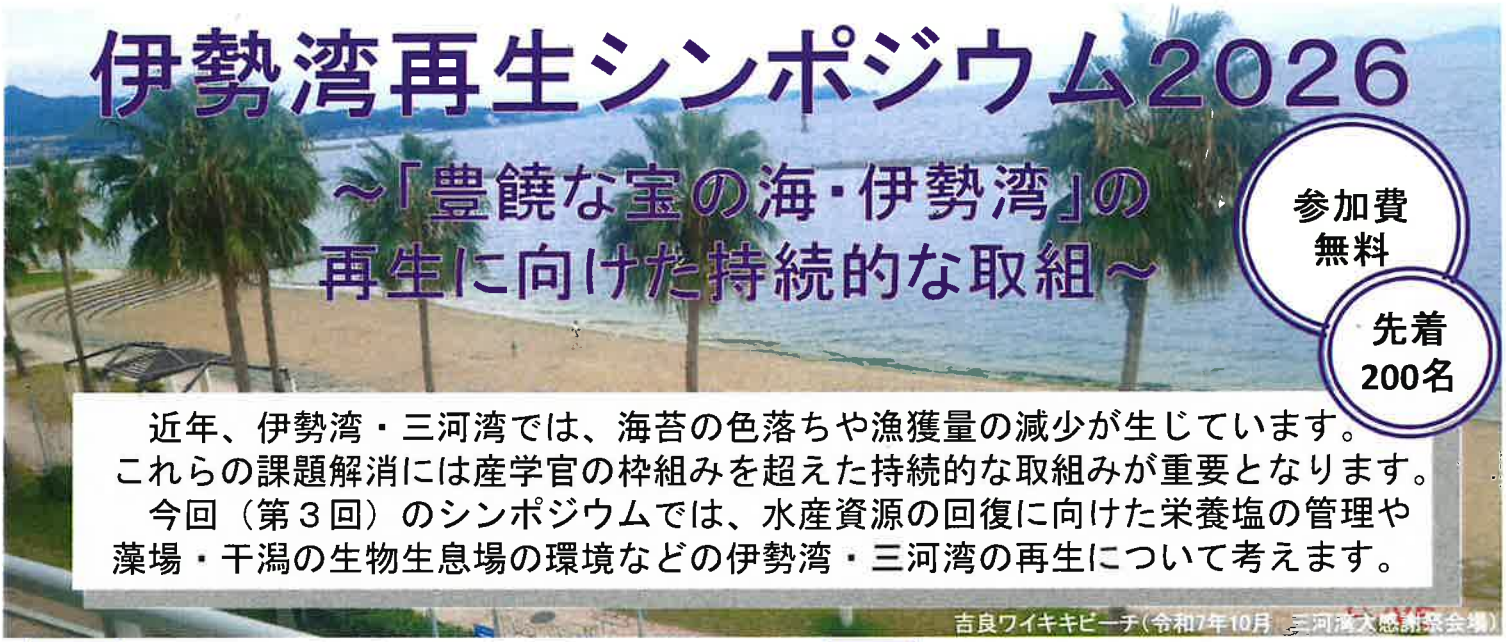


伊勢湾再生シンポジウム2026

～「豊饒な宝の海・伊勢湾」の再生に向けた持続的な取組～

参加費 無料

先着 200名

近年、伊勢湾・三河湾では、海苔の色落ちや漁獲量の減少が生じています。
これらの課題解消には産学官の枠組みを超えた持続的な取組みが重要となります。
今回（第３回）のシンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養塩の管理や藻場・干潟の生物生息場の環境などの伊勢湾・三河湾の再生について考えます。

吉良ワイキキビーチ（令和7年10月 三河湾大感謝祭会場）

日時 令和8年11月17日（火）
14:00～17:00 （開場 13:30）

会場 中電ホール（定員200名）
（愛知県名古屋市東区東新町1番地）

申し込み 参加をご希望の方は、
①氏名（ふりがな）
②ご所属
③メールアドレス をご記入のうえ、
下記のアドレス宛に送信してください。

pa.cbr-isewan-saisei@mlit.go.jp



地下鉄東山線「栄駅」5番出口から東へ徒歩約5分
公共交通機関等をご利用ください

プログラム

主催者・来賓挨拶

基調講演（30分）

「伊勢湾再生におけるこれまでの取組」
元 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院
教授 **中村 由行**
（伊勢湾再生海域検討会 プログラム検討WG 座長）

取組紹介・話題提供（80分）

「干潟・浅場造成と下水処理場栄養塩類増加運転に期待される相乗効果」
愛知県水産試験場 漁場環境研究部 技師 **和地 柚貴**

「名古屋港における浅場の試験造成について」
名古屋港管理組合 政策企画部 環境課長 **堀部 猛**

「鉄鋼スラグ等を用いた環境改善の取組」
日本製鉄株式会社 上席主幹 **田崎 智晶**
株式会社日本海洋生物研究所 **森 将人（発表者）**

「三河湾における藻場・干潟再生の取組」
NPO法人SEA藻 プロジェクトリーダー **鈴木 望海**

（休憩）

パネルディスカッション（テーマ：「豊饒な宝の海・伊勢湾」の再生に向けた持続的な取組）（50分）

コーディネーター：	鈴木 輝明	名城大学大学院総合学術研究科	特任教授
パネリスト：	中村 由行	伊勢湾再生海域検討会プログラム検討WG	座長
	田崎 智晶	日本製鉄株式会社	上席主幹
	鈴木 望海	NPO法人SEA藻	プロジェクトリーダー
	渡邉 弘	中部地方整備局 三河港湾事務所	所長

※土木学会のCPDプログラムに申請中

お問い合わせ先 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 後藤・山田 TEL:052-209-6329

共催：国土交通省中部地方整備局・愛知県　　協力：NPO法人伊勢湾フォーラム